

食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針（国）の構成	高知県食品ロス削減推進計画の構成（案）
<p>はじめに（基本方針の趣旨）</p> <p>I 食品ロスの削減の推進の意義及び基本的な方向</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食品ロスを取り巻く現状と削減推進の意義（国際的潮流等）</li> <li>我が国の食品ロスの現状（排出量、発生要因）</li> <li>基本的な方向（多様な主体が連携し国民運動として推進）</li> </ol> <p>II 食品ロスの削減の推進の内容に関する事項</p> <p>1 求められる役割と行動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>消費者（買い物、調理、外食の際の食品ロス削減に向けた行動）</li> <li>農林漁業者・食品関連事業者 <ol style="list-style-type: none"> <li>農林漁業者（規格外・未利用農林水産物の有効活用）</li> <li>食品製造業者（賞味期限延長・表示大括り化、容量適正化等）</li> <li>食品卸売・小売業者（納品期限緩和等商慣習見直し、小分け販売等）</li> <li>外食事業者等（小盛り・小分けメニュー導入、料理持ち帰り情報提供）</li> <li>食品関連事業者等に共通する事項（売り切り工夫、フードバンクへの提供、食品ロス削減取組開示）</li> </ol> </li> <li>事業者（農林漁業者、食品関連事業者以外の事業者含む）（災害時用備蓄食料の有効活用（フードバンク提供等））</li> <li>マスコミ、消費者団体、NPO等（積極的な普及啓発活動）</li> <li>国・地方公共団体（施策推進、備蓄食料有効活用等）</li> </ol> <p>2 基本的施策（地方公共団体は地域の特性に応じた取組）</p> <p><b>(1) 教育及び学習の振興、普及啓発等</b>  <b>(食品ロス削減月間(10月)のほか通年の広報、期限表示の正しい理解促進、学校教育での食品ロス削減理解促進、個に応じた給食指導)</b></p> <p>(2) 食品関連事業者等の取組に対する支援  (規格外・未利用農林水産物の活用（加工・販売等）促進、商慣習見直し（賞味期限表示大括り化、賞味期限延長、納品期限緩和促進）  <b>季節商品の需要に見合った販売促進、外食事業者の小盛り等取組促進、自己責任で「持ち帰り」を行うことを当たり前にする啓発、取組事例周知</b></p> <p>(3) 表彰（国において表彰制度創設）</p> <p>(4) 実態調査及び調査・研究の推進（国において実施）</p> <p>(5) 情報の収集及び提供（先進的取組/優良事例をWeb等で提供）</p> <p><b>(6) 未利用食品を提供するための活動の支援等</b>  <b>(関係者相互連携を含めたフードバンク活動の支援、手引き周知等)</b></p> <p>III その他食品ロスの削減の推進に関する重要事項</p> <p>1 地方公共団体が策定する食品ロス削減推進計画</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食品ロス削減推進計画の意義</li> <li>食品ロス削減推進計画の策定にあたっての留意事項 <ol style="list-style-type: none"> <li>推進体制の整備（部局会議等で施策連携、事業者・関係団体との協働、フードバンク活動基盤強化・必要な支援検討・実施）</li> <li>地域の特性等の把握（現状や課題を把握のうえ策定）</li> <li>計画策定時（地域特性に応じた取組、廃棄物処理計画との整合、廃棄物・SDGs・地方創生計画に食品ロス削減を位置づけることも考えられる、目標の設定、生じた食品廃棄物の再生利用検討）</li> <li>策定後の推進（部局会議等で成果検証、PDCAサイクルを徹底）</li> </ol> </li> <li>食品ロス削減推進計画策定への支援（情報提供・研修機会提供）</li> </ol> <p>2 関連する施策との連携（循環型社会基本法、食品リサイクル法、食育推進基本計画、廃棄物減量等基本方針等関連施策との連携）</p> <p>3 食品ロスの削減目標等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2000年度比で2030年度までに食品ロス量を半減させる</li> <li>食品ロス問題を認知して削減に取り組む消費者割合を80%とする</li> </ul> <p>4 実施状況の点検と基本方針の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国は施策実施状況について進捗確認、必要に応じて施策の見直し</li> <li>法施行後概ね5年（R6.10）を目途に基本方針の見直しを検討</li> <li>地方公共団体が策定する食品ロス削減推進計画についても、基本方針の見直しを踏まえ定期的に見直すことが望ましい</li> </ul>	<p>1 はじめに（計画の趣旨）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>背景</li> <li>目的（啓発・未利用食品再利用促進に特化して策定）</li> <li>計画の位置づけ（環境基本計画の個別計画）</li> <li>計画の期間 5年（今期のみ国基本方針・環境計画と整合のため4年）</li> </ol> <p>2 現状と課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>我が国の食品ロスの現状（排出量、発生要因、削減の意義）</li> <li>高知県の現状（排出量、県民の意識・削減行動）</li> <li>課題（県民の食品ロス削減行動、未使用食品有効利用の仕組み活用）</li> <li>目指す姿 <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の食品ロス発生量が抑制されている</li> <li>県民の食品ロス削減に向けた意識付けが進み、行動に移せている</li> <li>未利用食品の有効活用ルートが確立され、その利活用が進んでいる</li> </ul> </li> </ol> <p>「3 取組（2）削減施策」の項目に求められる役割と行動を記載</p> <p>3 取組</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>基本的な方向性</li> <li>削減施策 <ol style="list-style-type: none"> <li><b>①広報・啓発、教育</b>  食品ロス削減推進の意義を情報発信、学校・市町村教委との連携（食育）  食品ロス削減月間・削減の日広報、食品ロス削減キャンペーン</li> <li><b>②発生抑制（広報・啓発）</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民（消費者）に対し、家庭でできる取組等を情報提供  ※役割・求められる行動についてはこの箇所記載</li> <li>食品関係事業者に対し、食品ロス削減取組事例等を情報提供  ※役割・求められる取組についてはこの箇所記載</li> </ul> </li> <li><b>③有効利用（フードバンクなどに未利用食品をつなぐ取組）</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>県 未利用食品有効利用のための関係者連携を行う中間支援組織の周知・支援  市町村等でのフードドライブ実施促進、好事例紹介</li> <li>県民・家庭 未利用食品の提供</li> <li>事業者（農林漁業、食品製造、食品卸売、食品小売、外食等）  中間支援組織への未利用食品提供  店舗へのフードドライブ常設</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol> <p><b>地方公共団体の作成する食品ロス削減計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの地域の特性を踏まえた取組を推進することが重要</li> <li>(消費者庁) 計画で必ず規定しなければならない事項はなく、各自治体で地域の特性に応じた計画とすれば良い</li> </ul> <p>(3) 達成目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>食品ロス発生量を4年間で6.8%減らす</li> <li>食品ロス削減に取り組む消費者の割合を80%とする</li> <li>未利用食品有効利用ルートの活用（ルート利用食品量、利用団体数設定）</li> </ol> <p>4 その他</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>進行管理（庁内関係課でPDCA、環境審議会・消費生活審議会に報告）</li> <li>計画見直し（R7年度：次期計画 R8～12年度）</li> </ol>